

<白金標準先物、春節明けからデフォルト・リスクに注意・・・>



(出所：オアシス)

先週のADP雇用統計、ECB理事会を受けたFRBの過激な利上げ観測が後退、ECBの出口戦略の動きが重なり為替市場ではユーロ高：ドル安の動きを強めている。そのためユーロ高の恩恵でNY白金は1000ドルを下回る事無く、下げ渋る動きを見せていた。特に春節が終わった香港市場では休場明けの株価が2009年以降で最大の上昇率を記録するなど、恒大集団のデフォルト・リスクも後退し白金価格は底堅い値動きを続けている。

しかし週末の雇用統計でサプライズの結果を受けて3800円を上回る事が出来なかった。特にウクライナ情勢を受けたサプライチェーンの混乱懸念から日足は3700円～3800円以下で10日間以上の保合いを続けており、3800円が上回る事が出来なかった事から目先調整安の値動きに注意が必要である。

今週は中国市場も春節明けから通常取引に戻り、恒大集団に対するデフォルト要因も予想されるため、3800円を上回る事が出来なかった反動安にも注意したい。

ただウクライナにロシア軍が侵攻した場合は、西側諸国の対ロシア経済制裁処置を受けたロシア絡みの非鉄金属のアルミ、ニッケツ、パラジウム、プラチナなどは反発を示す可能性が高く、3700円以下は下げ渋る展開が予想される。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDの上昇が止まりながら、シグナルが切り上げ続けており、ヒストグラムの乖離は縮小している。RCIでも短期が切り下げながら長期も切り下げだしており目先の調整安が予想される。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 467,000 円(2022 年 2 月 7 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2022 年 2 月 7 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>